

平成18年度
科学研究費補助金公募要領
(研究成果公開促進費)

平成17年9月1日
文部科学省

目 次

I	公募の概要	1
1	研究成果公開促進費の目的・性格	1
2	種目	1
3	研究成果公開促進費に関するルール	1
II	公募の内容	2
1	研究成果公开发表（A）	2
(1)	研究成果公开发表のうちシンポジウムを開催するもの	2
①	対象	2
②	応募資格	2
③	実施期間	2
④	対象となる経費	3
⑤	審査希望分野	3
⑥	応募方法	3
⑦	採択された事業課題の公開	3
⑧	審査の方法・着目点等	3
⑨	関係法令等に違反した場合の取扱	3
(2)	研究成果公开发表のうち講演収録集を発刊するもの	4
①	対象	4
②	応募資格	4
③	応募金額	4
④	実施期間	4
⑤	対象となる経費	4
⑥	審査希望分野	4
⑦	応募方法	4
⑧	採択された事業課題の公開	4
⑨	審査の方法・着目点等	4
⑩	関係法令等に違反した場合の取扱	4
⑪	その他の留意事項	4
(別表1)	科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（A）」で採択され、平成17年度中にシンポジウムを開催する研究者グループ代表者一覧	5
2	研究成果公开发表（B）	6
(1)	対象	6
(2)	応募資格	6
(3)	応募金額	6
(4)	実施期間	6
(5)	実施主体	6
(6)	対象となる経費	6
(7)	審査希望分野	6
(8)	応募方法	6
(9)	採択された事業課題の公開	7
(10)	審査の方法・着目点等	7
(11)	関係法令等に違反した場合の取扱	7
3	研究成果公开发表（C）	8
(1)	対象	8
(2)	応募資格	8
(3)	実施期間	8
(4)	実施主体	8
(5)	対象となる経費	8
(6)	審査希望分野	8
(7)	応募方法	8
(8)	採択された事業課題の公開	9
(9)	審査の方法・着目点等	9
(10)	関係法令等に違反した場合の取扱	9
4	応募書類受付会場案内図	10
III	応募書類の様式・記入要領	
1	様式1 研究成果公开发表（A）計画調書	11
2	様式2 研究成果公开发表（A）計画調書（講演収録集）	19
3	様式3 研究成果公开发表（B）計画調書	25
4	様式4 研究成果公开发表（C）計画調書	31
IV	参考資料	
1	平成17年度科学研究費補助金の交付状況	40
2	予算額等の推移	42
	問合せ先	43

I 公募の概要

1 研究成果公開促進費の目的・性格

科学研究費補助金（研究成果公開促進費）は、研究成果の公開発表、重要な学術研究の成果の刊行及びデータベースの作成について助成することによって、我が国の学術の振興と普及に資するとともに、学術の国際交流に寄与することを目的とするものであり、優れた研究成果の公的流通の促進を図るものです。

研究成果公開促進費のうち、「研究成果公開発表」は、①大学等の研究者グループによる最新の独創的・先駆的な研究成果の社会各方面への公開発表、②学会や民間学術研究機関等が当該学問分野の最新の研究動向等を普及するために広く青少年や社会人を対象として開催する次世代の研究者養成にも資するシンポジウム・学術講演会等、並びに③諸外国のトップレベルの研究者の参加を得て、学術に関する研究発表及び討論等を行うために国内で開催される国際会議等に必要な経費を助成するものです。

2 種目

研究成果公開促進費には、次の種目があります。

種目	目的・内容	役割分担
		応募・審査・交付
研究成果公開促進費		
研究成果公開発表	研究者グループ等による学術的価値が高い研究成果の社会への公開や国際発信の助成	文部科学省
学術定期刊行物	学会又は、複数の学会の協力体制による団体等が、学術の国際交流に資するため定期的に刊行する学術誌の助成	独立行政法人 日本学術振興会
学術図書	個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行する学術図書の助成	独立行政法人 日本学術振興会
データベース	個人又は研究者グループ等が作成するデータベースで、公開利用を目的するものの助成	独立行政法人 日本学術振興会

3 研究成果公開促進費に関するルール

- (1) この補助金は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）」、「科学研究費補助金取扱規程（昭和40年文部省告示第110号）」等の適用を受けるものです。
- (2) 研究成果公開促進費には次の3つのルールがあります。
 - ①応募ルール：応募・申請に関するルール
 - ②評価ルール：事前評価（審査）に関するルール
 - ③使用ルール：交付された補助金の使用に関するルール
- (3) これらのルールは、今回、文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会が公募する研究成果公開促進費に関し、次のように適用されます。

種目	応募ルール	評価ルール	使用ルール
研究成果公開発表	文部科学省が作成する公募要領	科学研究費補助金における評価に関する規程	補助条件
学術定期刊行物 学術図書 データベース	独立行政法人日本学術振興会が作成する公募要領	独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会で決定される「審査方針」等	補助条件

II 公募の内容

1 研究成果公开发表（A）

（1）研究成果公开发表のうちシンポジウムを開催するもの

①対象

科学研究費補助金（特別推進研究、特定領域研究、基盤研究等）による相当の規模の研究で一般国民の関心が高いと思われるもの、または、民間等との共同研究、受託研究等による相当の規模の研究に関する成果を、分かりやすく発表しようとするもの。

なお、原則として、成果公開の前年度までに研究期間が終了し、成果の取りまとめの目途が立っていること。

②応募資格

応募しようとする者は、応募時点において、次の2つの要件を満たしていなければなりません。

- ① 指定された研究機関（注）に、当該研究機関の研究活動を行うことを職務に含む者として、所属する者であること（有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別を問わない。また、研究活動以外のものを主たる職務とする者も含む。）
- ② 当該研究機関の研究活動に実際に従事していること（研究の補助は除く。）

注. 科学研究費補助金取扱規程（文部科学省告示）第2条に規定される研究機関

- 1) 大学及び大学共同利用機関
- 2) 文部科学省の施設等機関のうち学術研究を行うもの
- 3) 高等専門学校
- 4) 文部科学大臣が指定する機関

〔不正な使用等に伴う応募資格の停止〕

科研費に関する不正な使用を行い、補助金の全部又は一部を返還した研究者等については、以下のとおり、一定期間、補助金を交付しないこととしています。下記（1）～（3）に該当する研究者については、氏名、研究者番号、交付停止期間を公表することがあります。また、科研費以外の文部科学省の予算に係る研究費で不正な使用等を行い、一定期間当該研究費の交付対象から除外される研究者についても、下記（1）の取扱となります。

- （1）不正な使用等を行った研究者（共謀した者を含む。）
 - ・他の用途への使用を行っていなかった場合には、補助金を返還した年度の翌年度及び翌々年度
 - ・他の用途への使用を行っていた場合には、補助金を返還した年度の翌年度から程度に応じて2～5年
- （2）不正な使用等を行った研究者と共同して研究を行っていた研究代表者及び研究分担者（平成16年度の補助金から適用）
不正な使用等を行った研究者が、他の用途への使用を行っていたか否かにかかわらず、補助金を返還した年度の翌1年度（新規の研究課題のみ対象）
- （3）不正に科研費を受給した研究者（共謀した者を含む。）
 - ・補助金を返還した年度の翌年度から5年間

③実施期間

1年～2年

(ア) 1年計画の場合・・・1年目にシンポジウムの開催

シンポジウムの
開催時期 平成18年7月～平成19年3月

開催期日 2日間

(イ) 2年計画の場合・・・1年目にシンポジウムの準備、2年目にその開催

シンポジウムの
開催時期 平成19年4月～平成20年3月

開催期日 2日間

④対象となる経費

区 分	経 費
シンポジウム準備のための経費	<ul style="list-style-type: none"> ・会場借料 事業を準備するために必要な会場借料 ・消耗品費 消耗品を購入するための経費 ・旅費 代表者、分担者及び講演者の出張のための経費 ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費 ・その他 上記のほか事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等）、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）
シンポジウム開催のための経費	<ul style="list-style-type: none"> ・会場借料 事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。） ・消耗品費 消耗品を購入するための経費 ・旅費 代表者、分担者及び講演者の出張のための経費 ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費 ・その他 上記のほか事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等）、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

⑤審査希望分野

審査を希望する分野について、以下の6つから必ず1つを選択してください。

「人文学」 「社会科学」 「数物系科学、化学」 「工学」 「生物学、農学」 「医歯薬学」

⑥応募方法

(ア) 提出書類（前年度に内約を受けた継続事業についても応募書類の提出が必要）

応募書類	提出部数
研究成果公開発表（A）計画調書（様式1）	25部（正本1部・副本24部）※

※ 正本は記名押印又は署名したもの、副本は正本の写しでよいが、いずれも両面印刷し、様式どおりに作成してください。（所定の様式の改変は認められません。）

なお、**副本のうち1部は糊付けせず、クリップ止めして提出してください。**

(イ) 応募書類を持参する場合

次の提出期間内に所定の受付場所に提出してください。

（提出期間）**平成17年11月14日（月）～11月17日（木）**

（午前9時30分から正午まで及び午後1時から午後4時30分まで）

（提出先）東京都千代田区一番町8番地（住友一番町F Sビル）

独立行政法人日本学術振興会 一番町第2事務室1階会議室（住友一番町F Sビル内）

（予定）

（10頁「応募書類受付会場案内図」参照）

(ウ) 応募書類を送付する場合

応募書類を送付する場合は、配達が可能である方法（配達記録、小包、簡易書留、宅配便等）により、余裕を持って発送してください。また、封筒等の表に朱書きで「平成18年度研究成果公開発表（A）計画調書在中」と記入してください。

（提出期間）**平成17年11月14日（月）～11月17日（木）必着**

（11月16日（水）までに発送したことが証明でき、11月18日（金）までに到着したもので受理）

（送付先）〒102-8472 東京都千代田区一番町8番地（住友一番町F Sビル）

独立行政法人日本学術振興会 研究事業部 研究助成課 気付 「研究成果公開発表」

応募書類受付担当

⑦採択された事業課題の公開

採択された事業課題は、報道発表資料等によりシンポジウム名、代表者氏名、交付予定額等を公開します。

⑧審査の方法・着目点等

「評価ルール」（「科学研究費補助金における評価に関する規程」（平成14年11月12日科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会決定））を参照してください。

「評価ルール」は、文部科学省のホームページ（http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm）でご覧いただけます。

⑨関係法令等に違反した場合の取扱

応募書類に記載した内容が虚偽であったり、関係法令・指針等に違反し、計画を実施した場合には、補助金の交付を取り消すことがあります。

(2) 研究成果公开发表のうち講演収録集を発売するもの

①対象

研究成果公开发表（A）に採択された公開シンポジウムの講演収録集を発売し普及啓発しようとするもの。

②応募資格

科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（A）」で採択され、平成17年度中にシンポジウムを開催する研究者グループ代表者（別表1）

③応募金額 300万円以内

④実施期間

講演収録集発行期間 平成18年4月1日から平成19年2月28日

⑤対象となる経費（シンポジウム開催の翌年度に応募可能な経費）

区 分	経 費
シンポジウム講演収録集の発行のための経費	・謝金 テープ起こしのための経費 ・出版費 講演収録集発行に係る経費（組版代、製版代、刷版代、印刷代、用紙代、製本代）

⑥審査希望分野

審査を希望する分野について、以下の6つから必ず1つを選択してください。

「人文学」 「社会科学」 「数物系科学、化学」 「工学」 「生物学、農学」 「医歯薬学」

⑦応募方法

(ア) 提出書類（平成17年度にシンポジウムを開催し、平成18年度講演収録集を発売する継続事業の場合のみ該当）

応募書類	提出部数
研究成果公开发表（A）計画調書（講演収録集）（様式2）	25部（正本1部・副本24部）※
見 積 書	1部

※ 正本は記名押印又は署名したもの、副本は正本の写しでよいが、いずれも両面印刷し、様式どおりに作成してください。（所定の様式の改変は認められません）

(イ) 応募書類の提出期間・提出先（他の区分と提出期間・提出先が異なりますので特に注意願います。）
応募書類は、下記に提出してください。

（提出期間） **平成18年2月27日（月）～3月2日（木）**

（午前9時30分から正午まで及び午後1時から午後4時30分まで）

（提出先） 〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1

文部科学省研究振興局学術研究助成課研究成果公開促進係

※ 応募書類を送付する場合は、配達証明が可能な方法（配達記録、小包、簡易書留、宅急便等）により、余裕をもって文部科学省あてに発送してください。また、封筒等の表に朱書きで「平成18年度研究成果公开发表（A）（講演収録集）計画調書在中」と記入してください。

（提出期間） **平成18年2月27日（月）～3月2日（木）必着**

（3月1日（水）までに発送したことが証明でき、3月3日（金）までに到着したもので受理）

⑧採択された事業課題の公開

採択された事業課題は、報道発表資料等により、収録集名、代表者氏名、交付予定額等を公開します。

⑨審査の方法・着目点等

「評価ルール」（「科学研究費補助金における評価に関する規程」（平成14年11月12日科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会決定））を参照してください。

「評価ルール」は、文部科学省のホームページ（http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm）でご覧いただけます。

⑩関係法令等に違反した場合の取扱

応募書類に記載した内容が虚偽であったり、関係法令・指針等に違反し、計画を実施した場合には、補助金の交付を取り消すことがあります。

⑪その他の留意事項

本補助金による刊行とその重版は、無印税とし著者・著作権者・編者に一切の利益が生じないようにする。刊行に当たっては、出版社（発行所）と応募者との間で本補助金の制度について合意を得た上で、応募書類を作成してください。

科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「研究成果公開発表（A）」で採択され、平成17年度中にシンポジウムを開催する研究者グループ代表者一覧

課題番号	研究者グループ 代表者氏名	所属機関	シンポジウム名
1740001	長田 謙一	千葉大学	戦争と表象／美術 20世紀以後
1741002	吉村 作治	早稲田大学	エジプトを護る - 保存の世紀を迎えて：文化遺産保存の実践と今後 -
1741005	西川 潤	早稲田大学	中国西部開発と持続可能な発展
1741006	安藤 由美	琉球大学	沖縄におけるディアスポラ - ホスト社会との関係性をめぐって -
1742001	高野 幹夫	京都大学	化学：元素が彩る暮らしと未来
1743001	小原 雄治	国立遺伝学研究所	ゲノムは何をどのように決めているのか？ - 生命システムの理解へ向けて -
1743002	立田 穰	財団法人電力中央研究所	「マングローブ生態系と地球温暖化ガス - 温暖化対策としての沿岸生態系修復の有効性と課題 - 」
1743003	高橋 淑子	奈良先端科学技術大学院大学	分節研究から発現現象の普遍原理へ
1743004	大西 武雄	奈良県立医科大学	放射線・温熱によるがん治療の効果促進をめざし - 分子機構から臨床へ -

2 研究成果公開發表（B）

(1) 対象

学会や民間学術研究機関等が主催するシンポジウム・学術講演会等で、青少年（小・中・高校生を含む）や一般社会人の関心が高いと思われる分野の研究動向・研究内容を、分かりやすく普及啓発しようとするもの。

なお、主催団体の会員のみを対象とするものは対象となりません。

(2) 応募資格

- ①学会（日本学術会議の広報協力学術団体に限る。以下同じ）の代表者。学会の支部等が実施する場合であっても、学会の代表者が応募してください。
- ②地方公共団体の設置する研究所その他の機関又は民法(明治29年法律第89号)第34条の規定により設立された法人のうち、学術研究を行うものとして別に定めるところにより文部科学大臣が指定するものの代表者。

(3) 応募金額 150万円以内

(4) 実施期間

- ①開催日：平成18年7月1日～平成19年3月31日
- ②開催期間：原則として1日

(5) 実施主体

- ①学会又は学会の支部等。
- ②地方公共団体の設置する研究所その他の機関又は民法(明治29年法律第89号)第34条の規定により設立された法人のうち、学術研究を行うものとして別に定めるところにより文部科学大臣が指定するもの。

(6) 対象となる経費

区 分	経 費	
シンポジウム等 開催のための経 費	会場借料 消耗品費 謝 金 その他	事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。） 消耗品を購入するための経費 事業開催への協力をする者のための経費 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

(7) 審査希望分野

審査を希望する分野について、以下の6つから必ず1つを選択してください。

「人文学」 「社会科学」 「数物系科学、化学」 「工学」 「生物学、農学」 「医歯薬学」

(8) 応募方法

- ①提出書類（同一内容でシンポジウム等を2ヶ所以上で開催する場合は、それぞれ応募書類の提出が必要）

応募書類	提出部数
研究成果公開發表（B）計画調書（様式3）	25部（正本1部・副本24部）※

※正本は記名押印又は署名したもの、副本は正本の写しでよいが、いずれも両面印刷し、様式どおりに作成してください。（所定の様式の改変は認められません。）

なお、**副本のうち1部は糊付けせず、クリップ止めして提出してください。**

- ②応募書類を持参する場合

次の提出期間内に所定の受付場所に提出してください。

（提出期間）平成17年11月14日（月）～11月17日（木）

（午前9時30分から正午まで及び午後1時から午後4時30分まで）

（提出先）東京都千代田区一番町8番地（住友一番町F Sビル）

独立行政法人日本学術振興会一番町第2事務室1階会議室（住友一番町F Sビル内）

（予定）

（10頁「応募書類受付会場案内図」参照）

③応募書類を送付する場合

応募書類を送付する場合は、配達が可能である方法（配達記録、小包、簡易書留、宅配便等）により、余裕を持って発送してください。また、封筒等の表に朱書きで「平成18年度研究成果公開発表（B）計画調書在中」と記入してください。

（提出期間）**平成17年11月14日（月）～11月17日（木）必着**

（11月16日（水）までに発送したことが証明でき、11月18日（金）までに到着した
ものまで受理）

（送付先）〒102-8472 東京都千代田区一番町8番地（住友一番町F Sビル）

独立行政法人日本学術振興会 研究事業部 研究助成課 気付 「研究成果公開発表」
応募書類受付担当」

(9)採択された事業課題の公開

採択された事業課題は、報道発表資料等によりシンポジウム・学術講演会等名、主催団体名、代表者役職・氏名、交付予定額等を公開します。

(10)審査の方法・着目点等

「評価ルール」（「科学研究費補助金における評価に関する規程」（平成14年11月12日科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会決定））を参照してください。

「評価ルール」は、文部科学省のホームページ（http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm）でご覧いただけます。

(11)関係法令等に違反した場合の取扱

応募書類に記載した内容が虚偽であったり、関係法令・指針等に違反し、計画を実施した場合には、補助金の交付を取り消すことがあります。

3 研究成果公開發表（C）

(1) 対象

我が国の学会が主催する国際シンポジウム・国際会議等で、主催にかかる運営体制が確保されているもの。また、共催で開催する場合には応募学会が主体となって開催するものを対象とする。
なお、日本学術会議の「共同主催国際会議」に採択されているものは対象となりません。

(2) 応募資格

学会（日本学術会議の広報協力学術団体に限る。以下同じ）の代表者。学会の支部等が実施する場合であっても、学会の代表者が応募してください。

(3) 実施期間

1年～2年

- (1) 1年計画の場合・・・国際シンポジウム等の準備及び開催を同一年度内に実施
- (2) 2年計画の場合・・・1年目に国際シンポジウム等の準備、2年目にその開催を実施

区 分	実施期間
平成18年度が1年計画又は2年計画の1年目の場合	平成18年7月1日～平成19年3月31日
平成18年度が2年計画の2年目の場合	平成18年4月1日～平成19年3月31日

(4) 実施主体

学会又は学会の支部等。

(5) 対象となる経費

区 分	経 費	
1年計画の場合 (シンポジウム準備及び開催のための経費)	会場借料 消耗品費 旅 費 謝 金 その他	事業を準備するために必要な会場借料及び事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。） 消耗品を購入するための経費 特別講演等のため来日する外国人研究者の招へい旅費（交通費、滞在費） 事業準備及び開催への協力をする者のための経費 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）
2年計画の場合 1年目 (シンポジウム準備のための経費)	会場借料 消耗品費 謝 金 その他	事業を準備するために必要な会場の借料 消耗品を購入するための経費 事業準備への協力をする者のための経費 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）
2年目 (シンポジウム開催のための経費)	会場借料 消耗品費 旅 費 謝 金 その他	事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。） 消耗品を購入するための経費 特別講演等のため来日する外国人研究者の招へい旅費（交通費、滞在費） 事業開催への協力をする者のための経費 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

(6) 審査希望分野

審査を希望する分野について、以下の6つから必ず1つを選択してください。
「人文学」 「社会科学」 「数物系科学、化学」 「工学」 「生物学、農学」 「医歯薬学」

(7) 応募方法

①提出書類（前年度に内約を受けた継続事業についても、応募書類の提出が必要）

応募書類	提出部数
研究成果公開發表（C）計画調書（様式4）	25部（正本1部・副本24部）※

※正本は記名押印又は署名したもの、副本は正本の写しでよいが、いずれも両面印刷し、様式どおりに作成してください。（所定の様式の改変は認められません。）

なお、**副本のうち1部は糊付けせず、クリップ止めして提出してください。**

②応募書類を持参する場合

次の提出期間内に所定の受付場所に提出してください。

(提出期間) **平成17年11月14日(月)～11月17日(木)**

(午前9時30分から正午まで及び午後1時から午後4時30分まで)

(提出先) 東京都千代田区一番町8番地(住友一番町F Sビル)

独立行政法人日本学術振興会一番町第2事務室1階会議室(住友一番町F Sビル内)
(予定)

(10頁「応募書類受付会場案内図」参照)

③応募書類を送付する場合

応募書類を送付する場合は、配達ができる方法(配達記録、小包、簡易書留、宅配便等)により、余裕を持って発送してください。また、封筒等の表に朱書きで「平成18年度研究成果公開発表(C)計画調書在中」と記入してください。

(提出期間) **平成17年11月14日(月)～11月17日(木) 必着**

(11月16日(水)までに発送したことが証明でき、11月18日(金)までに到着した
ものまで受理)

(送付先) 〒102-8472 東京都千代田区一番町8番地(住友一番町F Sビル)

独立行政法人日本学術振興会 研究事業部 研究助成課 気付 「研究成果公開発表」
応募書類受付担当

(8)採択された事業課題の公開

採択された事業課題は、報道発表資料等により国際シンポジウム・国際会議等名、主催団体名、代表者職名・氏名、交付予定額等を公開します。

(9)審査の方法・着目点等

「評価ルール」(「科学研究費補助金における評価に関する規程」(平成14年11月12日科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会決定))を参照してください。

「評価ルール」は、文部科学省のホームページ(http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm)でご覧いただけます。

(10)関係法令等に違反した場合の取扱

応募書類に記載した内容が虚偽であったり、関係法令・指針等に違反し、計画を実施した場合には、補助金の交付を取り消すことがあります。

4 応募書類受付会場案内図

(受付会場)

独立行政法人日本学術振興会一番町第2事務室 1階会議室
(住友一番町F Sビル内) (予定)



【周辺拡大図】



(文部科学省分問合先)

文部科学省研究振興局 学術研究助成課 研究成果公開促進係
TEL 03-5253-4111 (内線 4090)

平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（A）」計画調書

① 研究者グループ 代表者自宅住所	〒		
② 代表者氏名	印		
③ 所属機関・部局・職名			
④ 郵便物送付先住所等	〒	TEL:	FAX:
			E-mail:
⑤ シンポジウム名	⑥	1 人文学	2 社会科学
	審査希望	3 数物系科学、化学	4 工学
	分野	5 生物学、農学	6 医歯薬学
⑦ 開催予定日： 平成 年 月 日（ ） ～ 平成 年 月 日（ ）			
⑧ 開催予定会場名：		開催予定地：	
⑨ シンポジウムの目的			
⑩ シンポジウムの概要			
⑪ 課題番号			
整理番号		受付番号	

12 シンポジウムの及ぼす効果

13 想定しているシンポジウムへの参加者層及び参加者数

14 シンポジウムのプログラム内容

15 準備 経費	合 計	費 目 別 内 訳				
		会場借料	消耗品費	旅 費	謝 金	その他
	千円	千円	千円	千円	千円	千円

【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください

16 開 催 経 費	合 計	費 目 別 内 訳				
		会場借料	消耗品費	旅 費	謝 金	その他
	千円	千円	千円	千円	千円	千円

【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください

17 シンポジウムの基になる研究の研究経過・研究成果等	
①研究費及び研究種目	
②研究課題名	
③研究期間 年度 ～ 年度	④研究費の総額 万円
⑤研究経過・研究成果	

⑥研究組織			
氏名（年齢）	所属研究機関・部局・職名	現在の専門	研究での役割分担

⑦過去5年間の主な論文（本シンポジウムの内容に関連するもので、本研究者グループの構成員が著者として発表したものを、最近のものから順に過去にさかのぼって記入してください。）

氏名	発表論文・著書名	発表年月日

**平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（A）」計画調書記入要領**

様式1の計画調書については、次のことに留意し、作成してください。

- (1) 所定の様式で作成し、必ず両面印刷してください。（所定の様式の改変は認められません。）
- (2) 楷書で記入してください。
- (3) 計画調書を切り張りで作成する場合には、作成した切り張りの計画調書をコピーしたものを正本とし、その正本に記名押印又は署名をしてください。
- (4) 計画調書の左端を必ず糊付け（ホッチキス止め、クリップ止めは不可）してください。**ただし、副本のうち1部は糊付けせずに、クリップ止めして提出してください。**
- (5) 金額を記入する場合には、3桁ごとに「,」（カンマ）を入れてください。

1 研究者グループ代表者自宅住所

応募者（研究者グループ代表者）の自宅住所を記入してください。

2 代表者氏名

記名押印又は署名をし、氏名には「ふりがな」を付してください。

3 所属機関 部局 職名

計画調書を作成する時点の所属機関、部局、職名を記入してください。

4 郵便物送付先住所等

こちらから郵便物を送付する際の住所・氏名・電話番号・FAX番号等を記入してください。

5 シンポジウム名

一般国民にも分かりやすく、広く国民に関心を持たれるようなものとし、40字以内で記入してください。なお、40文字以内で表すことができない場合には、40字以内で記入する主題とは別に、副題を記入しても差し支えありません。

6 審査希望分野

「1 人文学」、「2 社会科学」、「3 数物系科学、化学」、「4 工学」、「5 生物学、農学」、「6 医歯薬学」の中から、審査希望分野の一つを選んで、該当する番号を○で囲んでください。

7 開催予定日

開催予定日を記入してください。

8 開催予定会場名、開催予定地

開催予定会場名は応募時点で予定している会場名を記入してください。開催予定地は市町村レベルで記入してください。

9 シンポジウムの目的

シンポジウムの基になる研究の特色なども含め、本シンポジウムを開催する意義など焦点を絞り、具体的かつ明確に記入してください。

10 シンポジウムの概要

広く国民の関心と呼ぶテーマ・内容であることが具体的にわかるように記入してください。

11 課題番号

平成18年度開催経費の内約を受けている場合には、平成17年4月1日付研究振興局長通知で指定された課題番号（7桁）を記入してください。

12 シンポジウムの及ぼす効果

シンポジウムを行うことによって社会に及ぼす効果を簡潔に記入してください。

13 想定しているシンポジウムへの参加者層及び参加予定者数

想定している参加者層（例：高校生、大学生・院生、社会人一般、研究者）及び参加予定者数を記入してください。

14 シンポジウムのプログラム内容

誰がどのような内容の発表をするのか、具体的にプログラムの内容を記入してください。なお、一般国民を対象として行うことから、講演は全て日本語で行うことが望ましい、そのため研究者グループの中に外国人を加える場合には、その者が、日本語で講演を行うことができるかどうかを明記してください。

15 準備経費

2年計画で、平成18年度（1年目）にシンポジウムの準備を行う場合のみ、この欄に経費を記入してください。

金額は、千円単位で端数は切り捨てて計算し、合計欄は5つの費目（会場借料、消耗品費、旅費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

<対象となる経費>

- ・会場借料 事業を準備するために必要な会場借料
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・旅費 代表者、分担者及び講演者の出張のための経費
- ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等）、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

16 開催経費

平成18年度にシンポジウムを開催する場合、又は2年計画で平成19年度（2年目）にシンポジウムを開催する場合は、この欄に経費を記入してください。

なお、2年計画で平成18年度（2年目）の事業は、内約額の範囲内で計画を記入してください。

金額は、千円単位で端数は切り捨てて計算し、合計欄は5つの費目（会場借料、消耗品費、旅費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

<対象となる経費>

- ・会場借料 事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。）
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・旅費 代表者、分担者及び講演者の出張のための経費
- ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等）、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

17 シンポジウムの基になる研究の研究経過・研究成果等

シンポジウムの基になる研究について記入してください。なお、シンポジウムの基になる研究が複数ある場合には、様式1のうち「A-4-□」及び「A-5-□」を追加して、その研究ごとに作成してください。その場合 □ には研究ごとの番号を記入してください。

(例) シンポジウムの基になる研究が2件ある場合

1件目の研究：「A-4-1」、「A-5-1」

2件目の研究：「A-4-2」、「A-5-2」

平成 1 8 年度科学研究費補助金 (研究成果公開促進費)
「研究成果公开发表 (A)」計画調書 (講演収録集)

1 研究者グループ 代表者自宅住所	〒		
2 代表者氏名	印		
3 所属機関・部局・職名			
4 郵便物送付先住所等	〒	FAX:	E-mail:
	TEL:		

5 収録集の名称		6 審査希望分野		1 人文学	2 社会科学
				3 数物系科学、化学	4 工学
				5 生物学、農学	6 医歯薬学
7 判型	8 ページ数	9 発行部数			
		市販用	その他 (30部まで)	計 (C)	
判	頁	部	部	部	
10 直接出版費 (税込) (A)		11 定価 (税込) (B)		12 卸売価格 (税込)	
円		円		円	
				13 1部当たりの原価 (A) / (C)	
円		円		円	
14 応募経費	合計		費目別内訳		
			謝金	出版費	
	千円	千円	千円		
15 発行予定年月日 (当該年度の2月末日まで)		平成 年 月 日			
16 収録集刊行の目的					
17 課題番号					
				整理番号	受付番号

18 収録集刊行の概要 (シンポジウムの開催状況も含め記入してください)

19 収録集の目次

見 積 書

〈平成18年度 研究成果公開発表 (A) (講演収録集)〉

(研究者グループ代表者名)

平成 年 月 日

殿

(見積者)

住所

氏名

印

収録集の名称							
判 型	組 方	本 文 主 要 活 字	字 詰 ・ 行 数	ペ ー ジ 数	発 行 部 数		
					市 販 用	そ の 他	計 (C)
判	縦 横 段	ポ	字 × 行	頁	部	部	部

		数 量 (頁)	単 価 (円)	金 額 (円)			数 量	単 価 (円)	金 額 (円)
組 版 代	本文				印 刷 代	文・刷・図	台		
	索引					写 真			
	図表					扉			
	写真					表紙			
	扉					カバー			
	表紙					小計(d)			
	カバー								
	小計(a)								
		種	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	種	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)
製 版 代	文・刷・図				用 紙 代	写 真	枚		
	写真					扉	枚		
	扉					表紙	枚		
	表紙					カバー	枚		
	カバー					小計(e)			
	色分解代	点							
	小計(b)								
刷 版 代	文・刷・図	版			製 版 代	工賃	冊		
	写真	版				板紙	枚		
	扉	版				クローズ	本		
	表紙	版				小計(f)			
	カバー	版							
	小計(c)								
							計 ((a)+(b)+(c)+(d)+(e)+(f))		円
							消 費 税		円
							合 計 (A) 〈直接出版費(税込)〉		円

定価 (税込) (B)	卸売係数	卸売価格 (税込)	1部当たりの原価 (直接出版費(税込)(A)÷発行部数計(C))
円	%	円	円

出版社等への原稿組入日 : 平成 年 月 日

発行予定年月日 : 平成 年 月 日

平成18年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)
「研究成果公开发表(A)」(講演収録集)計画調書記入要領

様式2の計画調書については、次のことに留意し、作成してください。

- (1) 所定の様式で作成し、必ず両面印刷してください。(所定の様式の改変は認められません。)
- (2) 楷書で記入してください。
- (3) 計画調書を切り張りで作成する場合には、作成した切り張りの計画調書をコピーしたものを正本とし、その正本に記名押印又は署名をしてください。
- (4) 金額を記入する場合には、3桁ごとに「,」(カンマ)を入れてください。

1 研究者グループ代表者自宅住所

応募者(研究者グループ代表者)の自宅住所を記入してください。

2 代表者氏名

記名押印又は署名をし、氏名には「ふりがな」を付してください。

3 所属機関 部局 職名

計画調書を作成する時点の所属機関、部局、職名を記入してください。

4 郵便物送付先住所等

こちらから郵便物を送付する際の住所・氏名・電話番号・FAX番号等を記入してください。

5 収録集の名称

当該シンポジウム名を基本とし、当該収録集の表紙等に表示する主題を記入してください。

6 審査希望分野

「1 人文学」、「2 社会科学」、「3 数物系科学、化学」、「4 工学」、「5 生物学、農学」、「6 医歯薬学」の中から、前年度応募した分野の一つを選んで、該当する番号を○で囲んでください。

7 判型

見積書に記載された「判型」を記入してください。

8 ページ数

見積書に記載された「ページ数」を記入してください。

9 発行部数

見積書に記載された「発行部数」の「市販用」、「その他」及び「計(C)」を記入してください。
なお、「その他」(市販以外)は30部までとなっているのでご注意ください。

10 直接出版費(税込)(A)

見積書に記載された「合計(A)〈直接出版費(税込)〉」を記入してください。

11 定価(税込)(B)

見積書に記載された「定価(税込)(B)」を記入してください。

12 卸売価格（税込）

見積書に記載された「卸売価格（税込）」を記入してください。（円未満は切り捨ててください。）

13 一部当たりの原価（A）／（C）

見積書に記載された「一部当たりの原価」を記入してください。（円未満は切り捨ててください。）

14 応募経費

経費は千円単位で記入してください。300万円以内とします。

合計欄は2つの費目（謝金、出版費）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

〈対象となる経費〉

- ・謝金 テープ起こしの為の経費
- ・出版費 講演収録集発刊に係る経費（組版代、製版代、刷版代、印刷代、用紙代、製本代）

15 発行予定年月日

本補助事業のスケジュール（当該年度の2月末日までに発行）に留意して、出版社等とよく相談の上、記入してください。

16 収録集刊行の目的

本収録集を刊行する目的、意義を記入してください。

17 課題番号

平成17年4月1日付研究振興局長通知で指定された課題番号（7桁）を記入してください。

18 収録集刊行の概要

当該収録集の刊行の概要をシンポジウムの開催状況を含め、できるだけ具体的に記入してください。

19 収録集の目次

当該収録集の目次の項目を列記してください。

〈その他の留意事項〉

本補助金による刊行とその重版は、無印税とし著者・著作権者・編者に一切の利益が生じないようにすること。

刊行に当たっては、出版社（発行所）と応募者との間で本補助金の制度について合意を得た上で、応募書類を作成してください。

なお、提出期限は、平成18年2月27日（月）～3月2日（木）となっておりますのでご注意願います。

平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（B）」計画調書

1 主催団体の所在地	〒		
2 主催団体名		代表者職名	
		代表者氏名	印
3 シンポジウム・学術講演会等名	4 審査希望分野	1 人文学 3 数物系科学、化学 5 生物学、農学	2 社会科学 4 工学 6 医歯薬学
5 開催予定日：平成 年 月 日（ ） 時 ～ 時			
6 会場名：		開催地：	
7 シンポジウム・学術講演会等の目的			

整理番号		受付番号	
------	--	------	--

8 シンポジウム・学術講演会等の概要

9 シンポジウム・学術講演会等の対象（○印（複数可）を付し、このうち主たる対象となるものに、◎印を付して主たる対象とした理由を理由欄に記入してください。）

1 小学生

2 中学生

3 高校生

4 大学生

5 社会人

（主たる対象とした理由）

10 参加予定者数：

人

⑪ 応募 経 費	合 計	費 目 別 内 訳			
		会場借料	消耗品費	謝 金	その他
	千円	千円	千円	千円	千円

【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください

⑫ シンポジウム・学術講演会等が及ぼす効果

13 過去3年間に実施した青少年・社会人対象のシンポジウム・学術講演会等開催状況

シンポジウム・学術講演会等名	開催日	開催場所	対象者	参加者数

14 過去に科学研究費補助金を受けた実績

採択 年度	シンポジウム・学術講演会等名	開催日	開催場所	対象者	参加者数実 績（予定）

15 前年度の応募状況： 応募有（採択・不採択） ・ 応募無

16 主催団体 事務連絡先	職名
	氏名
	TEL: (内線) E-mail:
	FAX:

**平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（B）」計画調書記入要領**

様式3の計画調書については、次のことに留意し、作成してください。

- (1) 所定の様式で作成し、必ず両面印刷してください。（所定の様式の改変は認められません。）
- (2) 楷書で記入してください。
- (3) 計画調書を切り張りで作成する場合には、作成した切り張りの計画調書をコピーしたものを正本とし、その正本に記名押印又は署名をしてください。
- (4) 計画調書の左端を必ず糊付け（ホッチキス止め、クリップ止めは不可）してください。ただし、副本のうち1部は糊付けせずに、クリップ止めして提出してください。
- (5) 金額を記入する場合には、3桁ごとに「,」（カンマ）を入れてください。

1 主催団体の所在地

主催団体の所在地を記入してください。

2 主催団体名 代表者職名 氏名

主催団体（学会等）名は、正式名称を記入してください。また、法人格を有している場合には、社団法人、財団法人等も省略せずに記入してください。（主催団体名であり、支部名での応募は不可）

代表者職名は、主催団体（学会等）の代表者職名（例：会長、理事長）を記入し、代表者氏名は、記名押印（職印）又は署名をしてください。なお、法人格を有していない任意団体において、職印がない場合には、代表者は、個人印を押印してください。

3 シンポジウム・学術講演会等名

一般国民にも分かりやすく、広く国民に関心を持たれるようなものとし、40字以内で記入してください。なお、40文字以内で表すことができない場合には、40字以内で記入する主題とは別に、副題を記入しても差し支えありません。

また、同じ内容でシンポジウム・学術講演会等を2カ所以上で開催する場合には、地区名等を入れて別々に応募してください。

（良い例：第〇回〇〇のための公開シンポジウム「人間の感情を左右する脳の働きについて」）

（悪い例：〇〇学会第〇回特別講演「公開シンポジウム」）

4 審査希望分野

「1 人文学」、「2 社会科学」、「3 数物系科学、化学」、「4 工学」、「5 生物学、農学」、「6 医歯薬学」の中から、審査希望分野を一つ選んで、該当する番号を○で囲んでください。

5 開催予定日

平成18年7月1日から平成19年3月31日までの間で開催予定日を記入してください。

開催日数は、原則として1日です。

6 会場名、開催地

会場名は具体的に記入してください。開催地は市町村レベルで記入してください。

7 シンポジウム・学術講演会等の目的

社会的背景なども含め、本シンポジウム等を開催する意義など焦点を絞り、具体的かつ明確に記入してください。

8 シンポジウム・学術講演会等の概要

参加対象に応じたテーマ・内容であることが具体的にわかるよう記入してください。

9 シンポジウム・学術講演会等の対象

研究者や教員のみを対象とするシンポジウム・学術講演会等は、応募の対象となりません。

「1 小学生」、「2 中学生」、「3 高校生」、「4 大学生」、「5 社会人」の中から、該当する番号を○で囲み（複数可）、このうち、主たる対象となるものに◎印を付して、主たる対象とした理由を理由欄に記入してください。

10 参加予定者数

会場の収容可能人数ではなく、実際の参加予定人数を記入してください。

11 応募経費

経費は千円単位で記入してください。

合計欄は4つの費目（会場借料、消耗品費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

<対象となる経費>

- ・会場借料 事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。）
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

12 シンポジウム・学術講演会等が及ぼす効果

シンポジウム・学術講演会等の開催によって参加者に及ぼす効果を記入してください。

13 過去3年間に実施した青少年・社会人対象のシンポジウム・学術講演会等開催状況

最近のものから過去にさかのぼって順に記入してください。シンポジウム等名・開催日・開催場所・対象者・参加者数等を記入してください。

14 過去に科学研究費補助金を受けた実績

過去に本補助金を受けて開催されたシンポジウム・学術講演会等がある場合には、最近のものから過去にさかのぼって順に記入してください。採択年度・シンポジウム等名・開催日・開催場所・対象者・参加者数等を記入してください。

なお、参加者数欄には、必ず当該補助金を申請した際の参加予定者数を参考に（ ）書きで記入し、計画と実績を示してください。

15 前年度の応募状況

今回応募するシンポジウム・学術講演会等と同趣旨のものを前年度に開催した場合、その応募状況について、該当する項目（「応募有」又は「応募無」の別）を○で囲んでください。また、前年度に応募した場合には、「採択」又は「不採択」の別についても、該当するものを○で囲んでください。

16 主催団体事務連絡先

「主催団体」の事務担当者の職名、氏名、電話番号等を記入してください。

平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（C）」計画調書

1 主催団体の所在地	〒								
2 主催団体名		代表者職名							
		代表者氏名	印						
3 国際シンポジウム ・国際会議等名	和文名： (英文名)	4 審査 希望 分野	<table border="0"> <tr> <td>1 人文学</td> <td>2 社会科学</td> </tr> <tr> <td>3 数物系科学、化学</td> <td>4 工学</td> </tr> <tr> <td>5 生物学、農学</td> <td>6 医歯薬学</td> </tr> </table>	1 人文学	2 社会科学	3 数物系科学、化学	4 工学	5 生物学、農学	6 医歯薬学
1 人文学	2 社会科学								
3 数物系科学、化学	4 工学								
5 生物学、農学	6 医歯薬学								
5 開催予定日：平成 年 月 日 () ～平成 年 月 日 () (日間)									
6 会場名：		開催地：							
7 青少年・一般社会人を対象としたシンポジウム等の有無： 1. 有 2. 無									
8 国際シンポジウム・国際会議等開催の目的									
9 課題番号									
整理番号			受付番号						

10 国際シンポジウム・国際会議等の概要

11 国際シンポジウム・国際会議等のプログラム内容（1日目、2日目等として記入してください。）

12 国際シンポジウム・国際会議等における外国人演者の氏名及び主な業績		
氏名	所属・職名	主な業績
13 国際シンポジウム・国際会議等開催の準備状況		
14 参加 予定 者数	参加予定者総数	うち外国人参加予定者数 (外国人の参加国数)
	人	人 (か国)

< 1年計画又は2年計画の2年目（平成18年度開催）の場合 >

15 平開 成催 18経 年費 度	合 計	費 目 別 内 訳				
		会場借料	消耗品費	旅 費	謝 金	そ の 他
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください						

< 2年計画（平成18年度準備・平成19年度開催）の場合 >

16 平準 成備 18経 年費 度	合 計	費 目 別 内 訳			
		会場借料	消耗品費	謝 金	その他
	千円	千円	千円	千円	千円
【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください					

17 平開 成催 19経 年費 度	合 計	費 目 別 内 訳				
		会場借料	消耗品費	旅 費	謝 金	そ の 他
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
【そ の 他】の費目について積算根拠を記入してください						

18 学会の国際的活動

19 国際シンポジウム・国際会議等の実績（過去5年間について，最近のものから順に過去にさかのぼって記入してください。）

国際シンポジウム・国際会議等名	開催日	開催場所	参加国数	参加者数

20 共催の有無について（共催のあるものについては、その組織名と会議における役割・位置付けについて記入してください。）

21 日本学術会議の「共同主催国際会議」の応募の状況

応募有 ・ 応募無

22

主催団体
事務連絡先

職 名
氏 名
TEL:
FAX:

(内線) E-mail:

**平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）
「研究成果公开发表（C）」計画調書記入要領**

様式4の計画調書については、次のことに留意し、作成してください。

- (1) 所定の様式で作成し、必ず両面印刷してください。（所定の様式の改変は認められません。）
- (2) 楷書で記入してください。
- (3) 計画調書を切り張りで作成する場合には、作成した切り張りの計画調書をコピーしたものを正本とし、その正本に記名押印又は署名をしてください。
- (4) 計画調書の左端を必ず糊付け（ホッチキス止め、クリップ止めは不可）してください。**ただし、副本のうち1部は糊付けせずに、クリップ止めして提出してください。**
- (5) 金額を記入する場合には、3桁ごとに「,」（カンマ）を入れてください。

1 主催団体の所在地

主催団体の所在地を記入してください。

2 主催団体名 代表者職名 氏名

主催団体（学会）名は、正式名称を記入してください。また、法人格を有している場合には、社団法人、財団法人等も省略せずに記入してください。（主催団体名であり、支部名での応募は不可）

代表者職名は、主催団体（学会）の代表者職名（例：会長、理事長）を記入し、代表者氏名は、記名押印（職印）又は署名をしてください。なお、法人格を有していない任意団体において、職印がない場合には、代表者は、個人印を押印してください。

3 国際シンポジウム・国際会議等名

和文名を記入してください。また、下段に（英文名）を記入してください。

4 審査希望分野

「1 人文学」、「2 社会科学」、「3 数物系科学、化学」、「4 工学」、「5 生物学、農学」、「6 医歯薬学」の中から、審査希望分野を一つ選んで、該当する番号を○で囲んでください。

5 開催予定日

開催予定日を記入してください。

6 会場名、開催地

会場名は具体的に記入してください。開催地は市町村レベルで記入してください。

7 青少年・一般社会人を対象としたシンポジウム等の有無

本国際シンポジウム・国際会議等のプログラムの中において、青少年・一般社会人を対象としたシンポジウム等の開催の有無について該当する番号を○で囲んでください。

8 国際シンポジウム・国際会議等開催の目的

国際シンポジウム・国際会議等開催の目的、意義及び国際的活動における本国際シンポジウム等の位置付け、本国際シンポジウム等を開催することになった経緯を簡潔に記入してください。

9 課題番号

平成18年度開催経費の内約を受けている場合には、平成17年4月1日付研究振興局長通知で指定された課題番号（7桁）を記入してください。

10 国際シンポジウム・国際会議等の概要

我が国と世界の研究者に研究交流の場を提供するテーマ・内容であることが具体的にわかるように記入してください。

11 国際シンポジウム・国際会議等のプログラム内容

1日目、2日目等それぞれ具体的なプログラム内容を記入し、演者が決まっている場合には、演者名も記入してください。（挨拶、休憩等の記入は不要）

12 国際シンポジウム・国際会議等における外国人演者の氏名及び主な業績

今回応募する本国際シンポジウム・国際会議等での外国人演者の氏名・所属・職名・主な業績を記入してください。

13 国際シンポジウム・国際会議等開催の準備状況

応募時点での準備状況を記入してください。

14 参加予定者数

参加予定者の総数を記入し、うち外国人参加予定者数（外国人の参加国数）を記入してください。

15 平成18年度開催経費

平成18年度に国際シンポジウム・国際会議等を開催する場合は、この欄に経費を記入してください。なお、2年計画で平成18年度（2年目）の事業は、内約額の範囲内で計画を記入してください。

金額は、千円単位で端数は切り捨てて計算し、合計欄は5つの費目（会場借料、消耗品費、旅費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

<対象となる経費>

- ・会場借料 事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。）
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・旅費 特別講演等のため来日する外国人研究者の招へい旅費（交通費、滞在費）
- ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

16 平成18年度準備経費

2年計画で、平成18年度（1年目）に国際シンポジウム・国際会議等の準備を行う場合は、この欄に経費を記入してください。

金額は、千円単位で端数は切り捨てて計算し、合計欄は4つの費目（会場借料、消耗品費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

<対象となる経費>

- ・会場借料 事業を準備するために必要な会場の借料
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・謝金 事業準備への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

17 平成19年度開催経費

2年計画で、平成19年度（2年目）に国際シンポジウム・国際会議等の開催を行う場合は、この欄にも経費を記入してください。

金額は、千円単位で端数は切り捨てて計算し、合計欄は5つの費目（会場借料、消耗品費、旅費、謝金、その他）の合計を記入してください。（該当する費目がない場合は「0」を記入してください。）

なお、「その他」の費目については、積算根拠を記入してください。

＜対象となる経費＞

- ・会場借料 事業を開催する会場の借料（開催当日会場で使用するマイク、スクリーン等の機器借料のための経費を含む。）
- ・消耗品費 消耗品を購入するための経費
- ・旅費 特別講演等のため来日する外国人研究者の招へい旅費（交通費、滞在費）
- ・謝金 事業開催への協力をする者のための経費
- ・その他 上記のほか当該事業の遂行に係る経費（事務委託費、会議費（食事（アルコール類を除く）費用等、通信費（切手、電話等）、運搬費、資料作成に係る費用）

18 学会の国際的活動

学会の国際的活動の位置付けと、国際的活動の内容を具体的かつ明確に記入してください。

19 国際シンポジウム・国際会議等の実績

過去5年間に開催された国際シンポジウム・国際会議等名、開催日、開催場所、参加国数及び参加者数を最近のものから過去にさかのぼって順に記入してください。

20 共催の有無について

今回応募する本国際シンポジウム・国際会議等を共催で開催する場合には、共催する団体名及び組織名と本国際シンポジウム・国際会議等における役割・位置付けを具体的に記入してください。

なお、本補助金は、応募学会等が主体となって開催するものを対象としています。

21 日本学術会議の「共同主催国際会議」の応募状況

今回応募する本国際シンポジウム・国際会議等について、日本学術会議の「共同主催国際会議」の応募状況について、該当する項目（「応募有」又は「応募無」の別）を○で囲んでください。

22 主催団体事務連絡先

「主催団体」の事務担当者の職名、氏名、電話番号等を記入してください。

IV 参考資料

1 平成17年度科学研究費補助金の交付状況

(1) 新規

平成17年8月現在

研究種目	研究課題数			研究経費			1課題当たりの配分額	
	応募	採択	採択率	採択分の応募額	配分額	充足率	平均	最高
	件	件	%	千円	千円	%	千円	千円
科学研究費	(81,660) 92,398	(18,404) 19,934	(22.5) 21.6	(84,070,190) 95,236,397	(63,856,200) 72,209,800 【 4,308,300 】	(76.0) 75.8	(3,470) 3,622	(329,000) 190,300
特別推進研究	(128) 151	(19) 20	(14.8) 13.2	(1,925,374) 1,773,022	(1,693,500) 1,596,200 【 478,860 】	(88.0) 90.0	(89,132) 79,810	(329,000) 190,300
特定領域研究	(7,587) 9,518	(1,868) 2,186	(24.6) 23.0	(14,258,595) 22,139,693	(10,903,600) 16,632,000	(76.5) 75.1	(5,837) 7,608	(143,700) 177,500
基盤研究(S)	(396) 455	(65) 74	(16.4) 16.3	(1,912,112) 2,299,641	(1,694,800) 1,992,800 【 597,840 】	(88.6) 86.7	(26,074) 26,930	(55,100) 61,800
基盤研究(A)	(2,123) 2,515	(509) 526	(24.0) 20.9	(9,838,159) 9,860,305	(7,586,200) 7,711,000 【 2,313,300 】	(77.1) 78.2	(14,904) 14,660	(33,200) 36,700
基盤研究(B)	(12,032) 12,098	(2,769) 2,654	(23.0) 21.9	(23,488,451) 21,927,685	(18,070,000) 17,090,400	(76.9) 77.9	(6,526) 6,439	(14,300) 14,900
基盤研究(C)	(26,778) 30,168	(5,973) 6,410	(22.3) 21.2	(14,478,248) 15,602,096	(10,694,400) 11,380,400	(73.9) 72.9	(1,790) 1,775	(3,700) 3,600
萌芽研究	(14,545) 16,119	(1,779) 1,801	(12.2) 11.2	(4,901,581) 4,921,414	(3,360,400) 3,397,400	(68.6) 69.0	(1,889) 1,886	(3,900) 3,700
若手研究(A)	(1,048) 1,245	(200) 324	(19.1) 26.0	(2,504,782) 3,905,966	(1,947,300) 3,061,000 【 918,300 】	(77.7) 78.4	(9,737) 9,448	(23,200) 21,600
若手研究(B)	(14,042) 17,320	(4,308) 5,078	(30.7) 29.3	(10,039,806) 12,089,975	(7,366,000) 8,808,600	(73.4) 72.9	(1,710) 1,735	(3,600) 3,500
奨励研究	(2,981) 2,809	(914) 861	(30.7) 30.7	(723,082) 716,600	(540,000) 540,000	(74.7) 75.4	(591) 627	(970) 980
研究成果公開促進費	(1,497) 1,434	(738) 760	(49.3) 53.0	(3,713,546) 3,601,376	(2,823,130) 2,866,960	(76.0) 79.6	(3,825) 3,772	(63,500) 54,500
特別研究員奨励費	(1,967) 2,452	(1,967) 2,452	(100.0) 100.0	(2,365,716) 2,891,401	(2,075,832) 2,406,070	(87.7) 83.2	(1,055) 981	(3,000) 3,000
学術創成研究費	(80) 86	(20) 20	(25.0) 23.3	(1,741,734) 1,878,681	(1,552,000) 1,644,100 【 493,230 】	(89.1) 87.5	(77,600) 82,205	(97,400) 103,500
合計	(85,204) 96,370	(21,129) 23,166	(24.8) 24.0	(91,891,186) 103,607,855	(70,307,162) 79,126,930 【 4,801,530 】	(76.5) 76.4	(3,328) 3,416	(329,000) 190,300

(注1) ()内は、前年度を示す。
(注2) 【 】は、間接経費(外数)。

(2) 新規+継続

平成17年8月現在

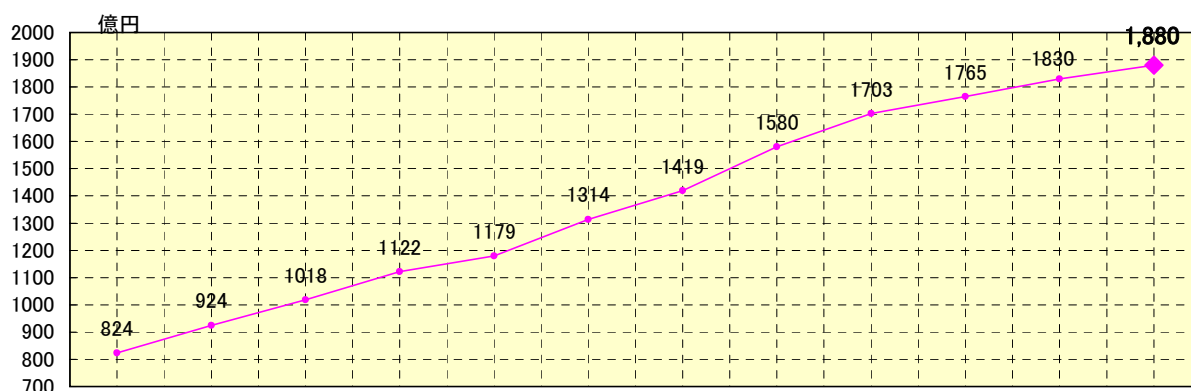
研究種目	研究課題数			研究経費			1課題当たりの配分額	
	応募	採択	採択率	採択分の応募額	配分額	充足率	平均	最高
	件	件	%	千円	千円	%	千円	千円
科学研究費	(106,762) 118,201	(43,442) 45,648	(40.7) 38.6	(163,922,768) 166,357,583	(140,318,871) 142,576,423 【 10,185,510 】	(85.6) 85.7	(3,230) 3,123	(360,000) 300,000
特別推進研究	(189) 215	(80) 84	(42.3) 39.1	(8,537,741) 6,840,022	(7,702,500) 6,445,600 【 1,933,680 】	(90.2) 94.2	(96,281) 76,733	(360,000) 300,000
特定領域研究	(9,257) 11,275	(3,537) 3,943	(38.2) 35.0	(40,077,415) 39,514,556	(33,937,900) 33,469,900	(84.7) 84.7	(9,595) 8,488	(216,800) 177,500
基盤研究(S)	(588) 704	(257) 316	(43.7) 44.9	(5,013,712) 5,925,341	(4,796,400) 5,618,500 【 1,685,550 】	(95.7) 94.8	(18,663) 17,780	(55,100) 61,800
基盤研究(A)	(3,425) 3,780	(1,798) 1,771	(52.5) 46.9	(19,966,659) 19,498,505	(17,714,700) 17,349,200 【 5,204,760 】	(88.7) 89.0	(9,852) 9,796	(33,200) 36,700
基盤研究(B)	(17,168) 17,245	(7,877) 7,770	(45.9) 45.1	(40,266,771) 39,156,185	(34,846,300) 34,318,900	(86.5) 87.6	(4,424) 4,417	(14,300) 14,900
基盤研究(C)	(35,820) 39,274	(14,993) 15,487	(41.9) 39.4	(23,165,948) 24,378,082	(19,382,100) 20,156,386	(83.7) 82.7	(1,293) 1,302	(3,700) 3,600
萌芽研究	(16,376) 18,175	(3,610) 3,855	(22.0) 21.2	(6,791,181) 7,082,014	(5,250,000) 5,558,000	(77.3) 78.5	(1,454) 1,442	(3,900) 3,700
若手研究(A)	(1,351) 1,547	(503) 626	(37.2) 40.5	(3,879,782) 5,383,366	(3,322,300) 4,538,400 【 1,361,520 】	(85.6) 84.3	(6,605) 7,250	(23,200) 21,600
若手研究(B)	(19,607) 23,177	(9,873) 10,935	(50.4) 47.2	(15,500,477) 17,862,912	(12,826,671) 14,581,537	(82.8) 81.6	(1,299) 1,333	(3,600) 3,500
奨励研究	(2,981) 2,809	(914) 861	(30.7) 30.7	(723,082) 716,600	(540,000) 540,000	(74.7) 75.4	(591) 627	(970) 980
研究成果公開促進費	(1,530) 1,464	(771) 790	(50.4) 54.0	(3,856,266) 3,789,661	(2,965,850) 3,050,410	(76.9) 80.5	(3,847) 3,861	(63,500) 54,500
特別研究員奨励費	(4,877) 5,575	(4,877) 5,575	(100.0) 100.0	(5,168,060) 5,879,290	(4,878,176) 5,393,959	(94.4) 91.7	(1,000) 968	(3,000) 3,000
学術創成研究費	(149) 173	(89) 107	(59.7) 61.8	(7,078,134) 8,105,581	(6,888,400) 7,871,000 【 2,361,300 】	(97.3) 97.1	(77,398) 73,561	(250,000) 150,000
合計	(113,318) 125,413	(49,179) 52,120	(43.4) 41.6	(180,025,228) 184,132,115	(155,051,297) 158,891,792 【 12,546,810 】	(86.1) 86.3	(3,153) 3,049	(360,000) 300,000

(注1) ()内は、前年度を示す。

(注2) 【 】は、間接経費(外数)。

2. 予算額等の推移

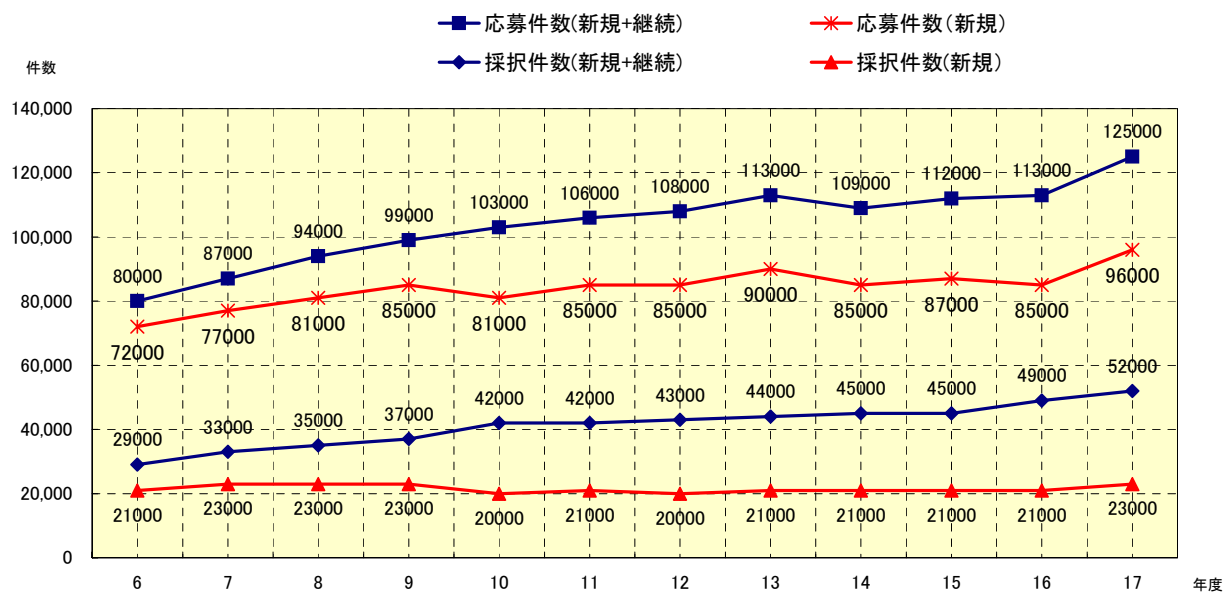
○予算額の推移



年度	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
予算額(億円)	824	924	1,018	1,122	1,179	1,314	1,419	1,580	1,703	1,765	1,830	1,880
対前年度伸び率(%)	12.0	12.1	10.2	10.2	5.1	11.5	8.0	11.3	7.8	3.6	3.7	2.7
※指数	—	—	—	—	—	—	1.00	1.11	1.20	1.24	1.29	1.32

(注) 指数は、平成12年度(第Ⅱ期科学技術基本計画が策定された前年)を1.00としたもの。

○応募・採択の状況



○採択率・充足率(新規分)の状況

年度	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
採択率(%)	28.6	29.4	28.3	27.1	24.8	24.3	23.9	23.1	24.6	23.7	24.8	24.0
充足率(%)	74.0	74.9	74.6	72.3	71.5	74.7	77.2	78.2	76.1	76.2	76.5	76.4

(注) 各年度における当初配分時の数字である。

問合先

- 1 この公募に関する問い合わせは、下記に照会してください。

〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1

文部科学省研究振興局学術研究助成課研究成果公開促進係

電話 03-5253-4111(代表)、内線：4090, 4319 直通：03-6734-4090

- 2 この公募要領に記載されている内容は、文部科学省のホームページでご覧いただけます。
また、応募書類の様式は、次のホームページからダウンロードすることができます。

文部科学省のホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm